

第93回 経営協議会議事録

日 時 令和2年3月10日（金）14時00分～16時30分

場 所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室

出席者 伊東学長

赤木委員、檜畑委員、柏原委員、垣見委員、帯野委員、岡村委員

永井、恵下、藤本、山本 各理事、吉田事務局長

（田中監事、添田副学長、クパニ副学長、足立副学長、本山教育学部長、
マグレビ経済学部長、宗森システム工学部長、尾久土観光学部長、竹内経
済学部准教授、堀内企画課長、南方総務課長、大林財務課長）

欠席者 多田委員、松原監事

学長から、第89回（11月29日）、第90回（12月13日書面審議）、
第91回（1月15日書面審議）、第92回（2月13日書面審議）の議事録につい
て確認があり、了承した。

議 題

1. 令和2年度国立大学法人和歌山大学年度計画（案）について

添田副学長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・達成困難な数値目標はどうするのか。今後の見通しは。

→教員就職率については、目標値を下回っているが、和歌山県教育委員会と
の連携強化やきめ細かな学生指導等を通じて達成できるよう努力していく。

また、人件費の削減については、計画的な採用や人事配置を行うことで達成
できるように努めていきたい。

2. 和歌山大学学則の一部改正について

永井理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

3. 令和2年度当初予算（案）について

藤本理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・学長裁量経費については、文部科学省のチェックを受けるのか。

→学長裁量経費がどう機能強化につながったのかについて、文部科学省から
の事後チェックが入ることとなっている。

・授業料収入について、内閣府計上分とはどういうことなのか。

| |
|--|
| →修学支援にかかる新制度の経費については、内閣府で予算計上することとなっている。 |
| 4. 銀行等との資金借入契約（案）について 藤本理事から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承した。 |
| 5. 組織の設置改廃及び学内諸規程の改正等について 藤本理事から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、規程の書きぶりを一部修正することで了承した。 |
| 6. 組織の設置改廃に伴う国立大学法人和歌山大学教職員給与規程の改正について 藤本理事から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、了承した。 |
| 7. 国立大学法人和歌山大学特任職員雇用規程の一部改正について 藤本理事から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、了承した。 |
| 8. 令和3年度経済学研究科設置計画書（事前伺い）の提出について マグレビ経済学部長及び竹内経済学部准教授から、資料8に基づき説明があり、審議の結果、了承した。 |
| （主な質疑） |
| ・企業の側からすると、大学院修士課程に社会人を送り出すことが困難な現状がある中で、大学院教育の一部を切り出して社会人に提供するというような取組も将来に向けて検討していただきたい。 |
| →社会人向けの教育プログラムも検討していきたいと考えている。 |
| ・留学生の受け入れにあたっては、入学要件、入学後の教育環境の確保等を明確にしておくべきである。 |
| →入学資格として、日本語運用に関する高い能力を課すこととしており、入学後の教育環境や体制についてもしっかりと整備することとしている。 |
| ・留学生ではなく、日本人学生を増やすことはできるのか。 |
| →企業からのアンケート結果においても今回の改組に対する需要はあり、改組後は企業との長期インターンシップなども実施するなど企業との連携を深めながら、社会人学生を増やしていきたいと考えている。また、内部進学者については、学部レベルから、きめ細かな学生指導を行う中で、進学者を増やす努力をしていきたいと考えている。 |
| |
| |

報 告

1. その他

- ・令和元年度大学機関別認証評価結果（案）について

添田副学長から、資料9に基づき説明があった。

- ・文部科学省との徹底対話について

伊東学長から、資料10に基づき説明があった。

最後に、伊東学長から第8期和歌山大学経営協議会学外委員への御礼の挨拶があった。

(主な意見)

- ・人件費を減らすため教員の採用を抑制することで、教育の質の低下を招かないように留意いただきたい。

- ・紀伊半島価値共創基幹は、対象とする地域資源を限定せずに広く捉え、地域のニーズに寄り添った活動を展開していただきたい。期待している。

以 上